

温室効果ガス排出量 13.4%削減
3年連続で京都議定書の日本削減目標をクリア

横浜ゴム（株）（社長：南雲忠信）の2008年度国内横浜ゴムグループの温室効果ガス排出量は、基準年比マイナス13.4%（2007年度比5.4%削減）※¹となり、3年連続で京都議定書の日本削減目標を上回った。また、当社の削減目標である「2010年度までに基準年比12%削減」を2年前倒しで達成した。

削減対策としては、燃料転換促進や主力タイヤ工場へのコージェネレーションシステム導入など設備投資による改善に加え、生産現場の省エネ改善活動や社内ブラックイルミネーション※²などによる徹底的な省エネ対策を行った。なお、景気低迷に伴う減産も影響した。

国内の2009年度削減目標は、減産分も考慮し「基準年比18%削減」をめざす。海外グループ会社における削減も積極的に進め、グローバルでの活動強化を図る。また、エネルギー消費原単位の改善に向け、省エネ活動の改善をさらに推進していく。

横浜ゴムはCSR経営指針として「社会からゆるぎない信頼を得ている地球貢献企業になる」を掲げ、環境面では地球温暖化対策を最重要課題のひとつとし、グローバル規模での活動を一段と強化していく。

- ※1：基準年は1990年。ただし京都議定書に準じてHFC、PFC、SF₆は1995年。
温室効果ガス排出量の算定方法は環境省・経済産業省発行の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」に準拠。
- ※2：使用電力量の削減と従業員のワーク・ライフ・バランスの推進を目的として、決められた退社時間に一斉消灯を行う活動。昨年夏に本社からスタートし、現在は全社活動として拡大している。電力使用量で年間35万kwh（約1,000世帯の1カ月分の電力使用量に相当）、CO₂排出量で年間160トンの削減を見込む。



横浜ゴムでは、横浜ゴムグループで取り組む多様な環境貢献活動を「ecoMOTION」と名付けています。

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株） 広報部
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570

横浜ゴム株式会社 広報部 広報・IRグループ
〒105-8685 東京都港区新橋5丁目36番11号 TEL:(03) 5400-4531 FAX:(03) 5400-4570